



水原小学校閉校記念誌

前進





餅つき収穫祭



水原小学校 校章

従来は、桜の花に小の文字のどこの学校でも使用していたものであったが、水原で古くから栽培されているゆかり深い梅に、水原の水の文字を図案化し、その中に小の文字を配した清そな感じの校章となった。

図案者は、当時の教頭先生で尾形文吉氏。

(昭和 38 年 10 月 1 日制定)



福島市立 水原小学校校歌

作詞 小林金次郎
作曲 紺野 五郎

1. みどりのみどりの あのはやまが
2. ひかるよひかる よいねのほが

みどりのやまこそ きぼうのやまより
こがねのなみこそ どりよくのひかり

そここから おおきい ゆめがわいて
そここから あしたの ゆめがわいて

みずはらしょうがく ひかりにみちる いこす
みずはらしょうがく ひかりにみちる すす

うよみんな もらさくおかを なか
もうみんな あらしをこえて あか

よるくげんだしにくとをこまっでも
よるくげただしにくとをこまっでも

こちらから校歌をお聴き頂けます。



校歌

昭和四一、一、二三 制定

作詞 小林金次郎
作曲 紺野 五郎

一、みどりの みどりの あ羽山
みどりの山こそ 希望の山よ
そこから大きい夢がわいて
水原小学 光にみちる
行こうよみんな 桃さく丘を
仲よく元気に 手をとって

二、ひかるよ ひかるよ 稲の穂が
黄金の波こそ 努力の光
そこからあしたの夢がわいて
水原小学 カにみちる
進もうみんな あらしを越えて
明るく正しく どこまでも

目次

- 福島市立水原小学校閉校記念に寄せて2
- 福島市長 木 幡 浩2
- 福島市教育委員会教育長 佐 藤 秀 美2
- 福島市立水原小学校校長 菅 野 靖3
- 福島市立水原小学校父母と教師の会会長 本 田 靖 諭3
- 福島市立水原小学校閉校記念事業実行委員会委員長 村 上 正 広4
- 在校生メッセージ5
- 現在の水原小学校6
- 学び舎の移り変り8
- 水原小学校150年のあゆみ 各年度の卒業時等の写真(大正7年度~令和4年度)9
- 水原小学校 活動の記録 22
- 思い出のメッセージ 31
- 歴代学校長・歴代PTA会長 34
- 主な沿革 35
- 水原小学校閉校記念事業実行委員会・編集後記 36



ごあいさつ

福島市長 **木幡 浩**

福島市立水原小学校の閉校記念誌発行にあたり、ごあいさつを申し上げます。本校は、明治6年6月、泉龍寺を仮校舎として創立され、昭和41年に福島市立水原小学校と校名を改め、150年の長きにわたり水原地区の教育と地域社会の発展に貢献してきました。

本校は、地域の思いや願いを受け止め、時代の移り変わりに伴う教育課題に真摯に向き合い、児童一人一人の生きる力の育成に努めてこられました。特に水原地区に自生する絶滅危惧種のクマガイソウを中心とした山野草の環境保全を、長年にわたり地域と共に推進された取組は、環境教育の先駆けとして高く評価され、平成24年には、環境省が顕著な功績があった団体を表彰する「地域環境保全功労者表彰」を受賞されるなど、輝かしい足跡を残されました。

歴史と文化、自然に恵まれたこの地で、子どもたちが一生懸命に育て築き上げてきた水原小学校は地域の皆様にとってかけがえのないものであったと推察いたします。閉校にあたり、地域の皆様の思いを大切に受け止め、本市の更なる発展に努めて参りたいと存じます。

最後の在校生となった児童の皆さんには、水原小学校での数多くの思い出を胸に、これからも勉学に励み、たくましく成長されることを心より願っております。

結びに、今日まで長年にわたり本校発展にご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、あいさつといたします。



思いやりを未来へつなぐ『みずはらっ子』

福島市立水原小学校校長 **菅野 靖**

桜咲く丘、緑あふれる山々、黄金の稲穂が実る大地、四季折々の顔を見せてくれる水原の地で、笑顔あふれる子どもたちの成長を支えてくれた水原小学校も、令和5年3月をもって150年間の歴史に幕を下ろします。

12名の児童が仲良く手を取り合い、上級生が下級生の面倒をよく見ている思いやりあふれる姿、一生懸命に学習や活動に取り組んでいる真面目な姿は、先輩方から後輩へと受け継がれてきた自慢できる伝統です。

田植えや運動会など多くの行事が保護者の方々のご協力により行われ、家庭や地域の皆様の温かい愛情と熱い思いで子どもたちが伸びやかに成長してきました。子どもたちを育て、地域の顔として発展してきた水原小学校に終止符が打たれる今、万感の思いが駆け巡ります。

『思いやりあふれる優しいみずはらっ子』の魂は、これからも子どもたちの心に灯り続けるはず。また、脈々と築き上げられてきた伝統、刻まれてきた歴史は、未来永劫に消えることはなく、必ずや水原小学校を卒業された諸先輩方や子どもたちの心の中で記憶として残り続けることでしょう。そして、その思いは統合される松川小学校で受け継がれていくと信じています。

結びに、今まで水原小学校の発展にご尽力いただきましたすべての関係者の方々に心より敬意を表しますとともに、水原小学校の最後の校長として務めさせていただいたことに深く感謝を申し上げ、閉校に寄せてのあいさつといたします。



ごあいさつ

福島市教育委員会教育長 **佐藤 秀美**

福島市立水原小学校の閉校にあたり、ごあいさつを申し上げます。

本校は、明治6年6月に八丁目第二支校として開校し、これまで多くの優れた人材を県内外に送り出して参りました。

これまでの歴史をたどってみますと、教育研究の面では、昭和48年、昭和60年に本教育委員会の指定を受け、特別活動の研究に取り組み、特別活動研究発表会を開催しました。当時の本校の研究は、児童一人一人に豊かな人間性を育む上で、本市の学校教育の先進的な取組として、大きな成果をあげられました。

また、環境教育においても、地域における環境保全や環境保護の在り方について研究を積み重ねるとともに、地域の方々と共に、環境に関する啓発活動や、水原川や通学路の掃除等を行いました。これらの活動が高く評価され、平成24年には、環境省から地域環境保全功労者表彰を受賞されました。

これまで地域と共に歩み続けてきた本校は、この度、その長い歴史の幕を閉じますが、本校を巣立っていった卒業生と、最期の在校生となった12名の色鮮やかな思い出がこの校舎に刻み込まれています。本市教育委員会といたしましては、この学校に寄せる皆様方の思いをしっかりと受け止め、統合された松川小学校での教育が更に充実するよう努めて参ります。

結びに、これまで水原小学校の発展にご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げ、あいさつといたします。



ありがとう、水原小学校

福島市立水原小学校父母と教師の会会長 **本田 諭**

今春令和5年3月末を以て水原小学校が閉校となります。水原の歴史を振り返るとき、地域の皆様の心の中にはこの水原小学校とともに歩んだ記憶が深く根付いていることと思います。今まで当たり前聞こえてきた水原小学校のチャイムの音をもう聞くことができなくなりますこと一つをとっても、誠に寂しい気持ちを感じずにはられません。

私ども水原小学校父母と教師の会は、平成30年より福島市教育委員会様より小学校統廃合のご提案をいただいており、以降定期的に協議をして参りました。児童数の減少・複式学級の現状を鑑み、「児童のために」を第一に考え松川小学校への統合に賛成させて頂きました。一方で地域への影響、また水原小学校への思い入れもありましたので、統廃合への賛成について葛藤の声も多く頂いたことも記憶しております。結果的に水原小学校が閉校となりますため、申し訳ない気持ちもございしますが、「みずはらっ子」たちの新たな一歩の後押しができたものと前向きに捉えさせて頂きたいと存じます。4月から松川小学校へ編入される児童の皆様におかれましては、水原小学校で学んだこと、地域からのご支援・ご協力を胸に、新しい環境で大きく成長されることを切に願っております。

結びとなりますが、私どもの母校、福島市立水原小学校の閉校にあたり、ご理解とご協力を頂きました水原地区の町内会長様はじめ地域の皆様、閉校記念事業実行委員会の皆様、そして水原小学校校長先生及び教職員の皆様への御礼と感謝を申し上げ、あいさつといたします。

水原小学校閉校にあたり



水原小学校閉校記念事業実行委員会委員長 **村上 正広**

緑の山々と、黄金に輝く田園に囲まれたこの水原小学校が、令和5年3月末日をもって150年の歩みを止める事となりました。明治6年6月、泉龍寺に八丁目第二支校として、23名の児童をもって学び舎が開設され、現在12名の児童数にまで減少し、閉校への議論を行って参りました。令和7年には、松陵中学校区に於いて義務教育学校が開校する事から、子どもたちの将来を見据え、松川小学校との合併へと決断した次第です。

150年の「歩みと思い出」を残したく、記念誌の発行に至りました。長い歴史を振り返るにはほんの一部分に過ぎない編集ですが、卒業生そして水原地区の皆様が、水原小学校の思い出を引き出す一助になれば幸いです。

編集にあたり、学制発布翌年の開校、明治25年当時月額授業料3銭、校名の変遷、新校舎完成後の暴風による倒壊、昭和24年の焼失、いずれも翌年には校舎完成。等々、高い教育への関心を示す事柄を垣間見る事ができました。(三浦富治氏著書より)

この水原小学校は、子どもたちを通じた交流の場所でもあり、地区民がスポーツに、そして季節ごとに行われるイベントにも利用されてきました。過疎化が進む地区ではありますが、今後も地区民が集い、地域活性化の拠点として利用できればと願ってやまないところです。

結びに、この記念事業にご寄付を頂戴した水原地区の皆様、各団体様、事業主様に厚く御礼申し上げます。



旧校門より校舎を望む

在校生メッセージ

令和4年度
在校生 12名



ありがとう
水原小学校

6年間毎日楽しく通ってこられました。友達との出会いや運動会などの楽しい経験が心に残っています。
6年 大河 侖緒

6年間楽しい思い出がいっぱいたくさんありました。1年生の時より積極的に行動できるようになりました。水原小学校で成長できうれしかったです。ありがとうございました。
6年 加藤 陽菜

水原小学校ではいろいろな行事に参加してきて、たくさんの経験をしました。水原小学校での経験を通して成長できました。ありがとうございました。
6年 本田 彩乃

わたしは4年生のときの学習発表会が一番楽しかったです。落言語「初天神」をみて、お客さんを笑わせることができました。3年 加藤 風緒

3年生でやった水泳きこり会が楽しかったです。マフラーと泳ぎまで、アイテムを出すことができたからです。最後に、いい感じに泳ぎました。3年 佐藤 圭

1年生のとき「1年生をおかえる会」で6年生の人たちが考えてくれたゲームをみんなで作って楽しかったです。3年 茂木 梁真

わたしは3年生の水原、学習発表会で全校合奏「コンポNO.5」を一生けん命がんばりました。キーボードでメロディーをひくの楽しいもた、たけと全部覚えました。3年 丹野 菜乃花

わたしは2年生で水原小にいる時間がすごく楽しかったです。たくさん思い出がありました。わたしは2年生から2年生までが、わたしの思い出です。
2年 服部 希暁

2年間毎日楽しく通いました。水原小の思い出がいっぱいあります。わたしは2、3年と行けたので楽しかったです。
2年 丹野 幸太良月

2年間の水原小生活、とても楽しかったです。水原小の思い出がいっぱいあります。わたしは2年生の時、水原小で過ごした思い出がいっぱいあります。2年 丹野 幸太良月

ぼくがたのしかったのは、うんどう会です。いい思い出です。1年 もぎたくま

たのしかったのは、いっしょに遊んだことです。1年生の時、水原小で過ごした思い出がいっぱいあります。1年 はりこ けい

現在の水原小学校



所在地／東経 140°25' 北緯 37°40' 海拔 229 m



地域の見所



◀「努力の木」
旧校舎正面でシンボルの存在として、数多の児童の成長を見守り続けた柿の木。正確な樹齢は不明だが、旧校舎建設時には杉林を挟んで戸ノ内稲荷神社と向かい合っていたとか。なお、稲荷神社は加藤商店宅内に移築されている。
玄関の「努力の木」は昭和60年度卒業記念制作品



学校正門より校舎を望む

思い出の校舎



1階ホールギャラリー



1階ホールギャラリー



校舎西階段



2階廊下



教室内



体育館



校舎東階段踊り場：昭和59年度卒業記念制作品

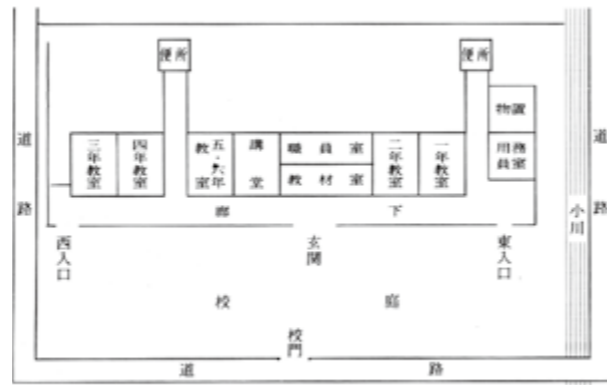


100年の庭

学び舎の移り変り



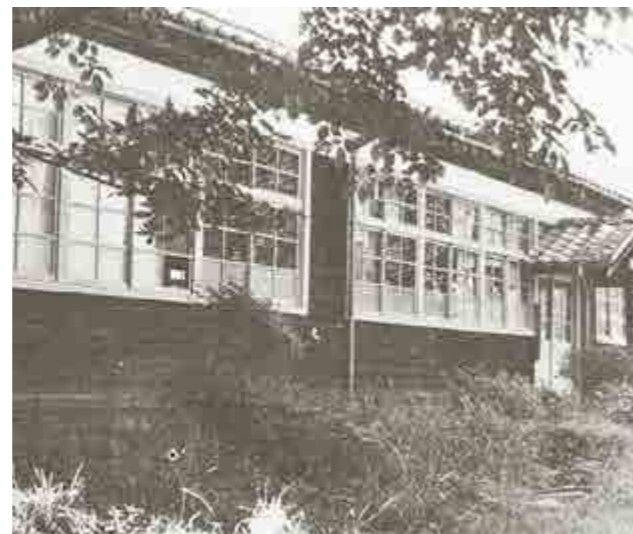
開校当時の写真（泉龍寺）



昭和初期の校舎（百周年記念誌より）



前校舎（中央に柿の木）



狼ヶ森分校舎

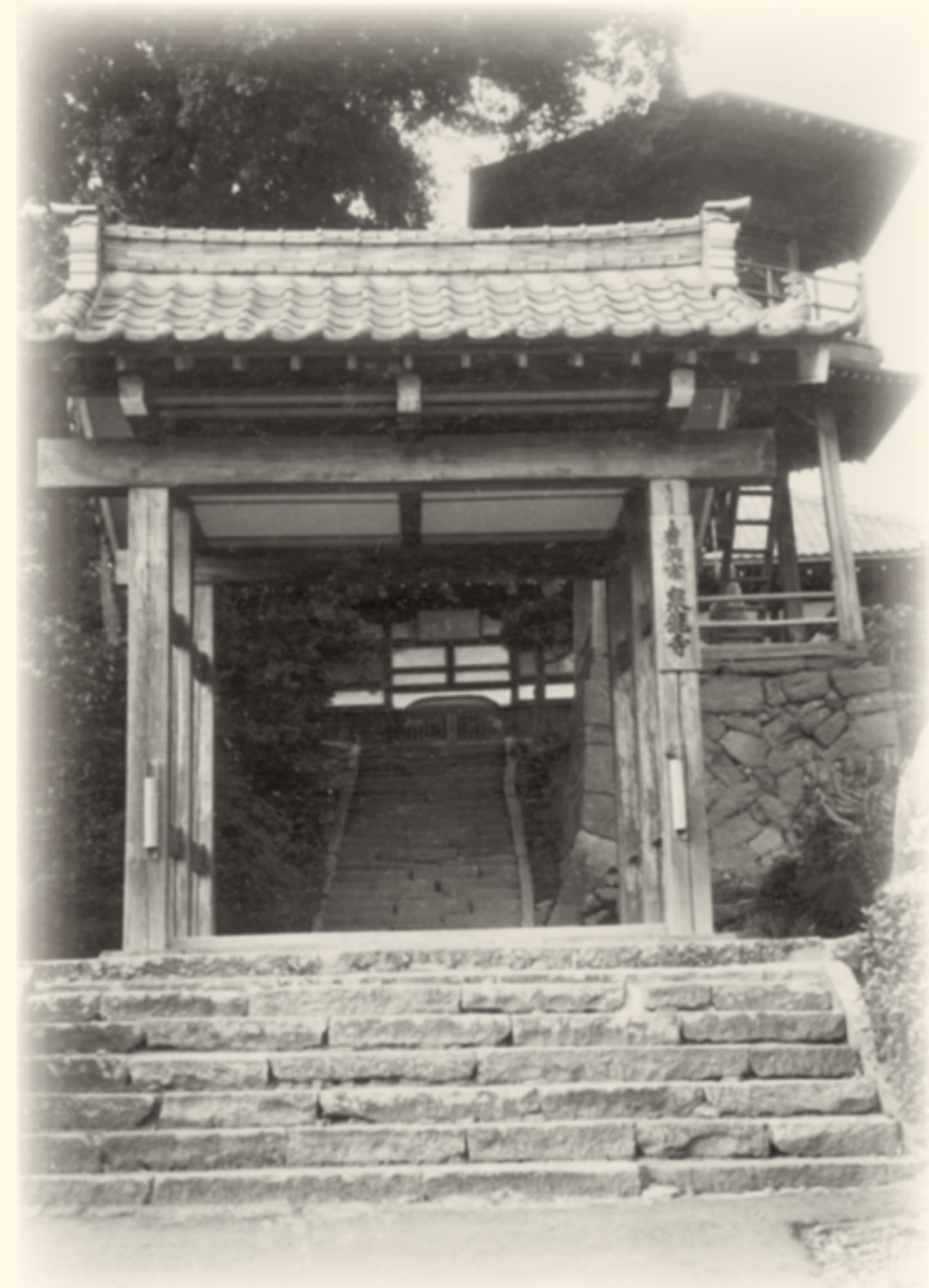


講堂（昭和28年5月完成）



前校舎の全景（そぞろ橋から撮影）

水原小学校 150年のあゆみ



開校当時の写真（泉龍寺）



大正7年度卒業生



大正11年度卒業生



大正13年度卒業生



大正14年度卒業生



昭和元年度卒業生



昭和2年度卒業生



昭和3年度卒業生



昭和4年度卒業生



昭和5年度卒業生



昭和6年度卒業生



昭和7年度卒業生



昭和8年度卒業生



昭和9年度卒業生



昭和10年度卒業生



昭和17年度卒業生



当時の教科書



昭和24年度卒業生



昭和25年度卒業生



昭和32年度卒業生



昭和33年度卒業生



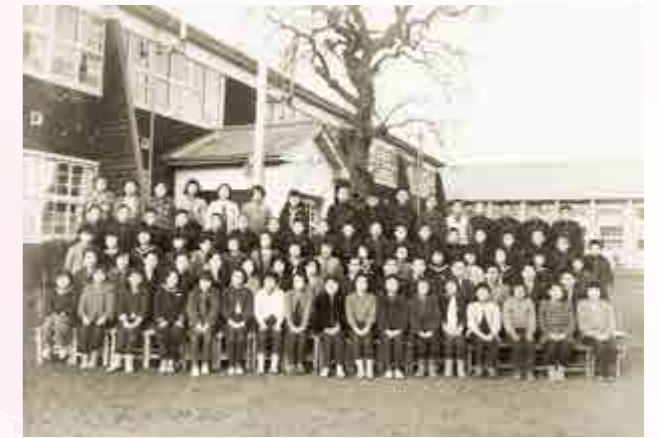
昭和26年度卒業生



昭和27年度卒業生



昭和34年度卒業生



昭和35年度卒業生



昭和28年度卒業生



昭和29年度卒業生



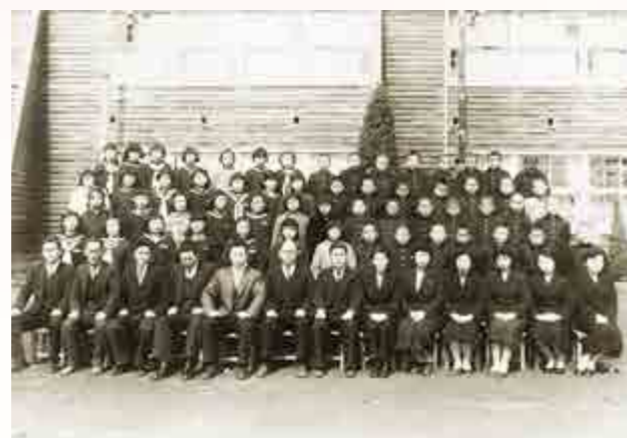
昭和36年度卒業生(1)



昭和36年度卒業生(2)



昭和30年度卒業生



昭和31年度卒業生



昭和37年度卒業生



昭和38年度卒業生(1)



昭和38年度卒業生(2)



昭和39年度卒業生(1)



昭和43年度卒業生(2)



昭和44年度卒業生



昭和39年度卒業生(2)



昭和40年度卒業生



昭和45年度卒業生(1)



昭和45年度卒業生(2)



昭和41年度卒業生(1)



昭和41年度卒業生(2)



昭和46年度卒業生



昭和47年度卒業生



昭和42年度卒業生



昭和43年度卒業生(1)



昭和48年度卒業生



昭和49年度卒業生



昭和50年度卒業生



昭和51年度卒業生



昭和58年度卒業生



昭和59年度卒業生



昭和52年度卒業生



昭和53年度卒業生



昭和60年度卒業生



昭和61年度卒業生



昭和54年度卒業生



昭和55年度卒業生



昭和62年度卒業生



昭和63年度卒業生



昭和56年度卒業生



昭和57年度卒業生



平成元年度卒業生



平成2年度卒業生



平成3年度卒業生



平成4年度卒業生



平成11年度卒業生



平成12年度卒業生



平成5年度卒業生



平成6年度卒業生



平成13年度卒業生



平成14年度卒業生



平成7年度卒業生



平成8年度卒業生



平成15年度卒業生



平成16年度卒業生



平成9年度卒業生



平成10年度卒業生



平成17年度卒業生



平成18年度卒業生



平成19年度卒業生



平成20年度卒業生



平成27年度卒業生



平成29年度卒業生



平成21年度卒業生



平成22年度卒業生(東日本大震災で卒業式中止)



平成30年度卒業生



令和元年度卒業生



平成23年度卒業生



平成24年度卒業生



令和2年度卒業生



令和3年度卒業生



平成25年度卒業生



平成26年度卒業生



令和4年度卒業生



吾妻連峰と水原小学校(2023年2月)

水原小学校 活動の記録

【躍動するみずはらっ子】

福島市小学校 陸上大会



福島市小学校 水泳大会



福島県小学生 クロカン



あつま運動公園を駆ける！



スポーツ少年団 ミニバスケット



福島県総体準優勝 共に戦った他校生と一緒に！



スポーツ少年団 サッカー



全日本少年サッカー福島県大会に
悲願の初出場を果たす！



福島市小学校
鼓笛パレード



水原川探検



実習田での
田植え



【地域とともに】

クマガイソウの里まつり



合同運動会



PTA 活動 他



思い出の メッセージ



昭和30年度卒業
丹野 幸男

小学生のころ、冬の季節は雪遊びに夢中でした。下駄の歯に敷居のレールを曲げて取り付けけたスケート下駄。足指で鼻緒を握ります。

東方の松川町は、宿屋、呉服屋、饅頭屋、写真館などが軒を連ねて、八丁目城下町の趣に心が躍りました。スケート下駄は、この町の鍛冶屋さんの手作り仕上げ、宝物です。

凍道を滑り転倒、足首の捻挫、皆勤賞は目標です。父親に負ぶさっての登校は恥ずかしく、背中に顔を隠して校門を入りました。



昭和43年度卒業
佳代子

私の思い出は、プールの完成です。プールが無かったので、水原川で魚を採ったり泳いだりしていました。プールの完成がまちどうしく、4年生の2学期から入れるようになり、5・6年生の夏休みは毎日プールに通っていた記憶があります。その時には、地域の皆様が毎日交代で見守りして下さい、安心してプールに入れた事が思い出され、感謝する次第です。その様な、水原小学校が閉校になる事に一抹の寂しさを感じるところです。でも、今まで以上に新しい時代に向き合い、子どもたちと地域の方々がこの水原小学校を思い出し未来へ……

水原小学校 ありがとうございます。



昭和49年度卒業
二階堂 剛

私は2年生まで水原小学校狼ヶ森分校、3年生から水原小学校へ通学しました。分校では、1年生2人、2年生3人が一緒に授業をおこないました。2年生が終わると同時に分校は閉校になってしまいました。水原小学校は木造の2階建てで、クラスは27人でしたが、大きな校舎で大勢の生徒がいた印象があります。放課後は、校庭や周辺で遊び回っていました。分校に続き、今度は水原小学校が閉校になると聞き、とても残念です。





**水原小学校創立100周年
卒業生として思う**

昭和50年度卒業
大河 良夫

清らかな水原川、平坦で黄金色に輝く田園、その周囲を包み込むように山の麓に建つ集落、笹森山のテレビ塔、安達太良山と吾妻山を遥かに仰ぐこの里は、子が育つ理想郷とっております。息子が水原小6年の時、PTA 会長を1年間務めさせて頂きました。平成18年以降児童数の減少から、6月に地区・小学校合同運動会として開催となり、5月中旬会場整備のため施設・育成部員と、その後歴代 PTA 会長会も加わり、毎年百年の庭の池掃除に皆と汗を流しました。この行事が永遠に続くことを願っておいしたので、少子高齢化という時代の流れによる閉校は残念でなりません。私はこの土地を愛し、再びあちこちの部落で、多くの童達の声が賑やかに響き渡る日が来ることを願っております。



昭和56年度卒業
黒澤 和久

私が小学生の時に現校舎が完成しました。今、玄関にある柿の木が切られて校庭がちょっと広がったのを喜んだ記憶があります。

当時最新のカメラがあり、放送委員会が役割分担して放送をやっていました。今の学習にも通じる自分達で考え行動する、そんな学び方も行っており画期的なことでした。

この地から離れた時もありましたが、再び学校とかかわることができた私は幸運でした。

水原小学校は閉校になりますが、この場所と思いはたくさんの人に残っていくと信じます。

ありがとうございました。



平成25年度卒業
菅野 光平

水原小学校は豊かな自然を活かした行事が数多くありました。

中でもクマガイソウの里におけるガイド活動は、水原小学校に新たな歴史を刻んだと言っても過言ではありません。

姉の代から始まったガイド活動は脈絡と受け継がれ、偶然にも私の代で環境大臣賞を頂くこともできました。小学生が絶滅危惧種の群生する山の案内をする、全国的に見ても類を見ない先進的な挑戦だったでしょう。

そんな貴重な活動に携わったことは、今までも、そしてこれからも私の誇りです。

小学校閉校にあたって

平成29年度卒業
佐藤 悠姫

卒業してからもうじき5年です。卒業後は小学校の話題に触れる機会は少なくなりましたが、弟が入学して、話を聞くと結構変わった印象を受けました。

お姉ちゃんと4年間一緒に通った小学校生活は、震災の影響も残っていたとのことですが、以前の様子を知らない私にしてみれば、充実した活動を送ることができたと思っています。少人数だからできたことがたくさんあったと思います。少人数ゆえに閉校しなければいけなくなったことは残念です。



水原小学校閉校にあたり

平成7年度卒業
丹野 宗俊

当時をふり返ると懐かしい思い出がよみがえり、とても温かい気持ちになります。現在は、保護者になり、水原小学校で育った素晴らしい6年間を子どもたちにも残してあげたいという思いもありましたが、新たに一步踏み出すこととなりました。将来を担う子どもたちにとってより良い環境になるよう期待しております。

水原の小学校が無くなってしまふのは、寂しいというのが正直な気持ちですが、私たちを見守ってくれた学校に感謝を伝えたいです。

「ありがとう」



**東日本大震災後に
迎えた卒業**

平成22年度卒業
大河 勇人

卒業を間近に控えた3月11日、あの日を境に多くの『当たり前』は壊れ、その中に私たちの卒業式もありました。その一方で自分たちが多くの人に支えられている事を気付かせたのもまた震災でした。一人一人の家まで卒業証書を渡しに来てくれたこと、卒業式の代わりに級友と卒業を祝う機会を作ってくれたこと、小学校が無くなってあふ場所でも貫つたものは決して忘れません。支えてくれた方々と母校に心より感謝申し上げます。

平成30年度卒業
服部 敬吏

水原小学校の強みは、なんと言っても学年間・地域間の交流が盛んなところ。僕はそう思います。少人数を生かした授業や全校生で食べる給食・放課後ふれあい活動・クマガイソウ活動や合同大運動会などの行事、全てが印象に残っています。高校の授業中に思い返したり、また顔を出したいと思ったりするほど楽しかったのだと思います。6年間過ごした水原小学校から活気が無くなるのは悲哀ではありますが、水原小学校で得た知識や経験を糧にし、これからも精進していきたいです。水原小学校、ありがとうございました。

令和4年度卒業生
大河 伶緒

ぼくは、6年間通い続けた水原小学校を誇りに思っています。だから、閉校するのはさみしく、悲しいです。

ぼくは一番思い出に残っているのは運動会です。水原小の運動会には、たがいに競い合う種目だけでなく、全校生で協力して行う種目があります。また、地域の人といっしょに行うので、交流の場にもなり、みんなのがんばる顔が心に残っています。これらは、水原小ならではの魅力だと思います。

水原小での思い出を、ずっと大切にしていきたいです。



歴代学校長・歴代PTA会長

歴代学校長

明治21年 3月	伊藤 弥作
明治21年 4月～明治21年10月	橋本 昌泰
明治21年11月～明治22年 6月	中村 幸三郎
明治22年 7月～明治24年 2月	岡 三郎
明治24年 3月～明治31年12月	田島 久敬
明治32年 1月～明治33年11月	生田目 熊之助
明治33年12月～明治34年12月	熊田 繁治
明治35年 1月～明治38年 3月	菊池 九一郎
明治38年 4月～明治39年11月	高橋 健而
明治39年12月～明治42年 2月	長谷治 久太郎
明治42年 3月～明治43年 3月	大江原 恂
明治43年 4月～大正 2年 3月	堀越 市松
大正 2年 4月～大正 6年 9月	高橋 与三郎
大正 6年10月～大正13年 2月	三本木 博
大正13年 3月～昭和 3年11月	加藤 卯平
昭和 3年12月～昭和 7年 2月	鳴原 寿政
昭和 7年 3月～昭和14年 2月	渡辺 己作
昭和14年 3月～昭和18年 2月	高橋 勇明
昭和18年 3月～昭和21年 2月	桃井 誠一
昭和21年 3月～昭和22年 4月	白石 武夫
昭和22年 5月～昭和26年 3月	堀川 英三
昭和26年 4月～昭和27年 3月	尾形 良吉
昭和27年 4月～昭和32年 3月	高野 勇
昭和32年 4月～昭和42年 3月	田中 政衛
昭和42年 4月～昭和46年 3月	照井 清
昭和46年 4月～昭和49年 3月	佐藤 卓也
昭和49年 4月～昭和53年 3月	四家 一美
昭和53年 4月～昭和58年 3月	目黒 金三
昭和58年 4月～昭和62年 3月	尻谷 洋
昭和62年 4月～平成 2年 3月	佐久間 文子
平成 2年 4月～平成 5年 3月	佐藤 忠晴
平成 5年 4月～平成 7年 3月	米倉 安男
平成 7年 4月～平成10年 3月	福島 力
平成10年 4月～平成13年 3月	野地 清重
平成13年 4月～平成16年 3月	松田 貞夫
平成16年 4月～平成19年 3月	麥倉 隆
平成19年 4月～平成22年 3月	内藤 良行
平成22年 4月～平成24年 3月	永瀬 功一
平成24年 4月～平成27年 3月	佐藤 安喜
平成27年 4月～平成29年 3月	小林 和文
平成29年 4月～平成31年 3月	阿部 貴史
平成31年 4月～令和 4年 3月	唯木 常晴
令和 4年 4月～令和 5年 3月	菅野 靖

歴代PTA会長会について

平成2年4月、「水原小学校PTA会長経験者（現会長も含む）の親睦を図るとともに、学校との交流を深め、子どもたちの健全な育成を支援する」ことを目的として発足した。恒例活動として、毎年6月に開催される小学校・地区合同の運動会前に、グラウンドや学校、体育館周辺の整備を実施している。



歴代 PTA 会長

昭和22年 4月～昭和24年 3月	茂木 平三
昭和24年 4月～昭和33年 3月	丹野 忠平
昭和33年 4月～昭和34年 3月	菅野 勝輔
昭和34年 4月～昭和38年 3月	丹野 多七
昭和38年 4月～昭和42年 3月	佐藤 英夫
昭和42年 4月～昭和47年 3月	大河 正雄
昭和47年 4月～昭和56年 3月	菅野 光夫
昭和56年 4月～昭和60年 3月	黒沢 紘一
昭和60年 4月～昭和63年 3月	丹野 幸雄
昭和63年 4月～平成 元年 3月	速水 清敏
平成 元年 4月～平成 2年 3月	渡辺 友一
平成 2年 4月～平成 4年 3月	菅野 涉
平成 4年 4月～平成 6年 3月	大河 涉
平成 6年 4月～平成 8年 3月	丹野 宗助
平成 8年 4月～平成 9年 3月	茂木 康雄
平成 9年 4月～平成11年 3月	丹野 信博
平成11年 4月～平成14年 3月	田島 重夫
平成14年 4月～平成18年 3月	佐藤 則勝
平成18年 4月～平成21年 3月	菅野 敏明
平成21年 4月～平成22年 3月	大河 良夫
平成22年 4月～平成23年 3月	大河 政一
平成23年 4月～平成26年 3月	茂木 善勝
平成26年 4月～平成30年 3月	加藤 義雄
平成30年 4月～令和 2年 3月	大河 松男
令和 2年 4月～令和 5年 3月	本田 諭

主な沿革

- 明治 6年 6月 泉龍寺を仮校舎として「八丁目第二支校」開校
- 明治 7年10月 養成館として独立
- 明治 8年 5月 水原小学校と改称
- 明治20年 4月 信夫郡水原尋常小学校に改称
- 明治21年 9月 校舎建築起工
- 明治22年 校舎新築（戸ノ内87番地）
- 明治26年 補習科設置
- 明治35年 9月 暴風のため校舎倒壊（9/28）
- 明治36年 5月 校舎再建築工（5/24）
- 明治38年 農業補習学校付設
- 明治41年 第5学年設置
- 明治42年 第6学年設置 2教室増築
- 大正12年 奉安庫建設
- 大正15年 4月 高等科を設置 水原尋常高等小学校に改称
- 昭和 6年 水原村補習学校を水原農業公民学校と改称
- 昭和 8年 1教室を増築
- 昭和 9年 障子窓をガラス窓に改造
- 昭和15年 紀元2600年奉祝式典
- 昭和16年 4月 水原国民学校と改称
- 昭和17年 夏季心身鍛錬武道練習会開催
- 昭和18年 郡青少年少年部錬成大会参加（代表13名）
- 昭和21年 御真影奉還、奉安庫廃す。
- 昭和22年10月 水原村立水原小学校と改称、高等科廃止され新生中学に編入
狼ヶ森に季節分教室設置される。
- 昭和23年 4月 狼ヶ森分校となる。
- 昭和24年 2月 公民館より出火、小学校類焼（全焼 2/24）
- 昭和25年 1月 校舎再建（1/17）小中学校父母と教師の会設立、分校校舎落成式
- 昭和27年 ピアノ披露学会、水原村教育委員会発足
- 昭和28年 5月 講堂落成式
- 昭和29年 国旗掲揚塔建て替え
- 昭和30年 3月 松川町立水原小学校と改称
- 昭和35年 校庭整地第一期工事
- 昭和37年 校庭整地第二期工事、給食室完成
- 昭和38年10月 校章・帽章制定
- 昭和40年11月 校歌制定・校旗制定
- 昭和41年 6月 福島市立水原小学校と改称
- 昭和42年 8月 プール完成
- 昭和43年 複式学習指導法研究会
- 昭和44年 補助給食実施
- 昭和45年 狼ヶ森分校閉校式
- 昭和46年 3月 特別活動研究指定校となる。
- 昭和48年 スクールゾーン設定、2階校舎水道敷設、特別活動研究発表会
- 昭和49年 校舎改築陳情採択される。
- 昭和50年10月 創立100周年記念式典（100年の庭及び記念碑完成）
- 昭和54年10月 現校舎完成により移転する。
- 昭和59年 4月 現体育館完成
- 平成 7年10月 創立120周年記念事業
- 平成10年 福島県ふなっこふるさと川づくり事業による学校周辺水原川整備
- 平成11年 コンピューター室設置（コンピューター6台等）
- 平成15年 コンピューター増設（19台設置）
- 平成18年 プール大規模改修完了
- 平成23年 3月 東日本大震災発生により卒業式中止
- 平成24年 6月 環境保全功労者等環境大臣表彰受賞
- 令和 5年 3月 水原小学校閉校記念式典
記念誌発行、記念プレートを設置



旧校舎時代の正門に残る銘板



前木造校舎



近代的現校舎・体育館完成



分校跡地に今も残るブランコ・鉄棒



念願のプール完成



100周年記念碑



閉校記念プレート

水原小学校閉校記念事業実行委員会

顧問：渡邊 友一、丹野 政光、丹治 勝広、丹野 恵子、三島 昭二、木村 哲二、鈴木 好夫、
日下部良一、茂木 文一、黒沢 紘一、丹野 幸雄、速水 清敏、菅野 渉、大河 渉、
丹野 宗助

委員長：村上 正広

副委員長：服部 謙、丹野 信博、本田 諭、菅野 靖（小学校 校長）

事務局長：佐藤 則勝

庶務：鈴木 政一、茂木美穂子、山口 常夫（小学校 教頭）

会計：丹野 眞助、丹野 宗俊

監事：丹野 悦夫、加藤 仁

■記念誌部会

部長：茂木 善勝

副部長：茂木 康雄

丹野 大壽、鈴木 俊市、加藤みゆき、服部 浩、安齋 昭通、加藤 隆彦、
内藤 順、菅野 敏明、大河 松男、大河 雅之、佐藤 敏晴、服部 洋亮

■記念式典部会

部長：服部 善哉

副部長：丹野 友幸（式典担当）

茂木 徳夫、茂木 生子、安齋 康子、佐藤ひとみ、田島 重夫、大河 良夫

副部長：丹野 金次（記念プレート担当）

茂木 実、大河 政一、加藤 義雄、丹野 耐

※表紙タイトル「前進」は、長年にわたり水原小学校の書写指導にご尽力いただきました
元小学校教諭で水原在住の黒澤喜代子様の揮毫です。ありがとうございました。

編集後記

この度、多くの方々のご支援により「前進：水原小学校閉校記念誌」を完成することが出来ました。
水原地区の方々にとって地域のシンボルでもある水原小学校の歩みに幕をおろすことに、感慨
深い思いがこみ上げてくることと、お察し致します。

寂しさは尽きませんが、これまで150年にわたって脈々と受け継がれてきた水原小学校の輝かしい
歴史と伝統が、新たな歴史を創造する力になっていくことと信じております。

そして、本誌が皆様のお手元にある限り、水原小学校は心の中で生き続けていくことと思えます。

結びになりましたが、本誌の発行にあたり、寄稿文・メッセージの依頼やアルバム・写真の提
供などでご協力いただきました多くの皆様方に、心より御礼申し上げます。

水原小学校閉校記念事業実行委員会
記念誌部長 茂木 善勝



水原小学校周辺に広がる水田地帯

関根もみじ山より本校を望む



地域を彩る花々

福島市立水原小学校
閉校記念誌

前進

令和5年3月25日発行

編集・発行：水原小学校閉校記念事業実行委員会

発行責任者：委員長 村上 正広

印刷：株式会社第一印刷

〒960-8201 福島市岡島字古屋館 1-2

Tel.024-536-3232(代)

<https://www.daiichiinsatsu.co.jp/>



水原川上流から望む羽山

私たちは決して忘れません。
「水原小学校で学んだことを」
150年の長きにわたる歴史の中で
一人一人が時の主人公として、
多くの方々とともに歩んだその時は、
かけがえのない宝物です。
明日から、
新たな時代に向かって歩み始めます。